

NPO 京都コミュニティ放送
第70回番組審議会

開催日時：2012年11月16日（金） 14:30～16:00

会場：烏丸ビル 2F Flag 三条

出席委員：丸橋泰子 市古和弘 井上恭宏 山本時子 野池雅人

欠席委員：中村 正 福井秀彦 津田正夫 ジェフ・バーグラント

局側委員：隅井孝雄 時岡浩二 町田寿二

ゲスト：宗田勝也さん（難民ノウ！制作者）

報告事項：

FMたんごとの共同制作番組、新京極／寺町京極商店街での生中継の企画 他

審議番組：

「難民ノウ！」（毎週土曜日 19:00 から 6分間）

局側委員からの説明：

2004年2月番組スタート「長寿番組」の一つとして認知度も高い。天気予報のように難民に関する最新情報を伝えるというコンセプトで宗田勝也がパーソナリティーも務め制作されている。

最初に11月10日放送の同番組を試聴した後、審議に入る。

精華大学の番組制作講座でラジオカフェに出会ったことから番組放送を始めたが、それにより人生の方向が変わった。その後、様々な人に会いラジオ以外の分野でも活動することに繋がった。（宗田氏談）

審議委員からのコメント：

番組放送開始当初から聞いているが、初めは3分間では内容が良く分からなかった。

宗田さんとはとてもうまく話している。パーソナリティー自身にも興味が湧く。

ラジオ放送に関わったことで人生が変わった良い例である。

たんと重要な事を話しているので、興味を持つ人が多いのではないかな。

Webでの発信も使うことでより詳しい内容を伝える事ができる。

コミュニティ放送らしい内容である。

番組の冒頭に難民が今、世界でどのような状態におかれているのか、どこの話しをするのか、難民について少しアテンションを払うように説明したほうが良い。

難民という言葉は最近良く使われているので、介護難民、買い物難民など、難民という言葉をもっと使って行く工夫ができると効果的だ。

震災、原発で日本にも多くの難民が存在している。身近な問題としてとらえる事ができると思う。

声、しゃべり方も誠実なのでリスナーには伝わると思う。

3分、6分番組でも短いということはない。テレビの1コーナーも同じくらいの長さである。

難民の情報は日本では少ない、興味を持つ人が多い。

福島から避難の30万人は日本の難民である。

臨時災害放送局のスタッフのラジオカフェや他局への見学を宗田氏がコーディネートしておられる。

今でも子育て情報はあまり、メディアに取り上げられていない。母親も情報を入手していない。

子育て情報の番組をもっと作って欲しい。

以上で審議を終了した。

この審議会の議事録は11月26日から事務所に据置き閲覧できるようにした。

また、11月26日（月）13:15から「番組審議会だより」として放送した。